

人間植物関係学詳論 (2単位)

担当者氏名 山口裕文 松嶋賢一

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

人間の身近な暮らしのなかにある景観植物、古典園芸植物、香源植物、贈答植物などが具体的にどのような形で人間とかかわり、心身の健康にどのような影響をもたらしているか、暮らしの中で福祉を増進するうえでどのように活用すればよいかを先端的事例をとおして検討し、この領域の現状と課題を理解する。活用事例に関わる資料・手順等を理解させ、仕様書作成能力を身につけさせる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

人間植物関係学 _____ 福祉農学 _____ 民族植物学 _____ 植物文化多様性 _____
 数量化理論 _____ 調査解析法 _____ 実験計画 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	植物素材	果樹・野菜・観賞植物・ハーブの特性と機能	本授業では、住居や都市など人間生活の場における植物の活用技術の成り立ちの理解をとおして人間植物関係学の応用の詳細を学ぶ。指定する学術論文数編をインターネットや関連書籍を概観して、授業時に意見を述べられるように準備しておくこと。
2	栽培管理資料	植物栽培の資料と方法	
3	家庭菜園・ガーデニング	家庭での植物栽培行為	
4	庭園植物と動物	都市化する住環境にみられる植物と動物の関係	
5	建物緑化	癒し植物の屋上・壁面・屋内への導入と手法	
6	水生植物の活用	水槽栽培、水草	
7	古典園芸の技法	盆栽、盆景、蛸作り	
8	多肉植物の活用法	多肉植物、サボテン	
9	平素の日の花の活用法	切り花、供花、仏花	
10	ハレの日の花	儀式、儀礼、ブライダル	
11	植物の香りの活用	香りの仕掛けとアロマセラピー 消臭 汚染防止	
12	贈答植物	植物贈呈 花籠、包装	
13	公園・都市緑化	公共空間での植物によるアメニティ向上の手法	
14	教育と園芸	教育の場における園芸の役割と手法	
15	見積もり・積算法	資料単価、作業単価、運営管理費	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門 (講談社)、栽培植物の自然史Ⅱ (北海道大学出版会)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)、雑草の自然史 (北海道大学出版会)

園芸福祉入門

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

授業レポートを毎回提出させ、執筆内容 (知識、論旨等) によって総合的に評価する。

◆オフィスアワー

授業期間中の火曜日 13 時より 14 時

◆その他受講上の注意事項